

番号	上の句	下の句	作者
20	秋の夜空 読書中 きらり光り	星が連なる 天の川	ゆらの
19	秋の空 日が沈む時 見てみれば	夕日の姿が 目に映る	スプラ魔人
18	十六夜の 天満月は きれいな	昼下がりに は秋を感じて	ハムハム
17	秋の彩 眺める 季節になつたから	心もそっと 彩られてく	なみ
16	夏来る 空輝かれ 僕たちは	はじめの 一歩よーい、どん	のえる
15	夏空の 眩い光と 雲の峰	求む氷菓の 冷たい事よ	滄海の一粟
14	夏の夜 水辺に 揺れる 道影を	心に写し 独り帰る	ちよこ
13	夜の空 おいどい てくれ 花火達	星が見えない 夏の思い出	温泉大好き人間
12	夕立が 全部洗って くれたなら	この気持ちまで 流れただろう	みなみ
11	夏休み 宿題忘れて 遊びすぎ	後悔しながら やる毎日	ゆきゆき